

## 降車禁止キャンペーン（仮）企画資料

## 1. 企画の背景

知床世界遺産地域内では、野生動物が高密度で生息するため、幌別以奥へのアクセス路である知床公園線の沿線では、道路脇にいるヒグマ、エゾシカやキツネ等の野生動物を見ようと停車する車が渋滞を引き起こし、通行の支障の原因となっている。特にヒグマに関しては、イダシュベツ・カムイワッカ地区において、2018年度は60件、2019年度は36件の目撃が報告されている。撮影等を目的に、道路上で降車する事例や、さらにはヒグマ等に接近する事案も多数起きており、交通事故の発生と同時に、ヒグマ等による人身事故の発生も懸念される。

以上のような状況のなか、幌別以奥の自動車利用者を適切に誘導することが喫緊の課題である。そのため、特に自動車利用者に対し、野生動物との適切な接し方を啓発することによって、自動車利用の適正化を促進することを目的に以下の企画を提案する。

## 2. 企画内容

## (1) 啓発品の作成

A) チラシ

## (目的)

- ・車中等での遭遇時取るべき対応を示す

## (内容)

- ・車のなかにとどまる
- ・野生動物と周囲の交通に注意し、安全な時のみ停車する
- ・他の運転手に警告するためハザードライトをつける
- ・わずかの間観察し、すぐに写真を撮り、前に進む
- ・もし交通渋滞が発生すれば、前に進む

## (多言語化)

- ・日英の裏表印刷とし外国人への周知も図る

B) カード

## (目的)

- ・野生動物との間取るべき目安距離を分かりやすく伝える

## (内容)

- ・目安距離は、ヒグマ 50m、エゾシカ 30m とする
- ・カードに窓を作り、その窓から対象動物と上記距離を保っているか確認できる仕組み（上記距離を保っている場合は、窓枠内に動物が入る）
- ・道路上等で至近距離を避けられないこともあるため、その場合は、車内から出ない、路上駐車しない等のメッセージも加える

（多言語化）

- ・日英の裏表印刷とし外国人への周知も図る

（イメージ図：カナダでの配布物）



### 3. 配布機会（想定）

- 構成団体・機関による直接配布イベント
- 施設等での配布

### 4. 開催時期（予定）

7月（夏休み期間）、9月（シルバーウィーク）